

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

施設名	高松市立玉藻公園		
指定管理者	香川県造園事業協同組合	施設所管課等	文化財課
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市玉藻町2番1号ほか	業務の概要	・施設の管理運営に関する業務(各種申請受付、利用調整等を含む) ・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・施設及び設備の補修・修繕に関する業務 ・施設利用の促進に関する業務
施設の概要	【施設】重要文化財(月見櫓、水手御門、渡櫓、長櫓)4棟、披雲閣(重要文化財)1棟、陳列館1棟、発券場2棟、便所3棟、駐車場2か所 【開園時間】東門 7:00～18:00(4～9月)、8:30～17:00(10～3月)、西門 5:30～18:30(4～5月)、5:30～19:00(6～8月)、5:30～18:30(9月)、6:00～17:30(10月)、6:30～17:00(11月)、7:00～17:00(12～1月)、7:00～17:30(2月)、6:30～18:00(3月) 【休園日】12月29日～12月31日		

	項目名	令和2年度	令和元年度	項目名	令和2年度	令和元年度
利用状況等	入園者数	82,966 人	229,439 人	自主事業参加者数(人)	和船運航 2,466	和船運航 5,952
	披雲閣利用日数	179 日	218 日	野外映画	145	野外映画 200
	アンケート回収数	78 件	144 件	お城ヨガ	126	お城ヨガ 291
収支状況等	指定管理料	74,146 千円	52,493 千円			
	収入実績(指定管理料除く)	11,714 千円	31,917 千円			
	支出実績	85,860 千円	84,410 千円			

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性 ②平等な利用の確保	市民の憩いの場である玉藻公園の設置目的を踏まえ、幅広い層の住民が安全・快適に利用できる緑地空間を目指して組合の技術を活かした。また、史跡高松城跡にふさわしい自主事業を展開して施設の知名度向上に取り組んだ。披雲閣貸出しにあたっては、利用者の希望を十分に聞き入れながら平等な利用を確保している。	A
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策 ②広報・PR対策 ③企画事業・自主事業 ④市・関係団体・地域等との連携 ⑤サービス向上の取組 ⑥相談・苦情への対応	「緑を通じて社会に貢献」を目標に快適な緑地空間の提供とインターネット媒体での広報を積極的に行い、マスコミの取材にも積極的に応じラジオ・TV等、偏りのない広報に配慮した。自主事業では新たに日本城郭協会とのコラボで「月見櫓カード」を製作。新グッズは「たまもんシャチホコステッカー」「高松城御城印」を企画販売。また市職員池添氏より「高松城ジオラマ模型」の寄贈を受け贈呈式を開催、多くのマスコミに取り上げられた。高松市観光ボランティアガイド協会との連携で団体客との連絡調整を行った。高松市・香川県菊友会との連携で第65回高松市菊花展競技会を成功させた。また、園内を歩いて歴史にふれるスタンプラリー「電磁要塞タマモジョー」を企画、地域のこどもたちに高松城の魅力を紹介し、好評を得た。春から秋の「お城ヨガ」、夏の野外映画、秋の披雲閣コンサート、コロナ禍にあって万全の対策で無事に成功させた。業務日報や窓口連絡簿に基づいて行う日々のミーティングにブレインストーミングを取り入れ、問題を共有、サービスの向上や苦情への対応に全員で取り組んだ。	S
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等 ②教育・研修 ③就業規則等の遵守 ④施設運営の健全性の確保 ⑤損害保険等 ⑥収支計画と執行管理	年中無休、長い開園時間に合わせた勤務ローテーションを組み、土日祝日の利用者が集中する業務に対応、平日に休日をとるなど働き方改革を行い職員に無理の無いよう工夫、改善し続けている。園内清掃を委託しているシルバー人材センター現場作業員との月間工程安全会議で問題点を共有して作業にあたる。全職員を対象に日々のミーティングで接遇マナーについて話し合っている。また高松短期大学インターンシップに協力して職員自らの教育・研修機会にしている。インターネットを利用した研修会に積極的に参加した。職員を対象とした健康診断を実施している。管理業務に付随する賠償責任に対する備えとして、施設賠償責任保険に加入している。コロナ禍による利用料金の大幅な減少に、市と情報交換しながら適切な執行を行った。	B
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費 ②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点 ③経営の効率化 ④合理的な会計制度	コロナ禍で入園者数、利用料金収入とも昨年度を大きく減少したが利用料金の減少分は市から補填を受け、適正に管理運営を行った。自主事業収入(自動販売機・来園記念品販売費・鯛エサ販売)約50万円を指定管理運営費に繰り入れた。本部組織に検査機関を設け管理運営・経理等の点検が適切に行われてた。	B

総合評価コメント	総合評価
史跡及び都市公園として、利用者が十分に憩い楽しめるよう、管理の経験や技術を生かした安定した実施状況が伺える。重要文化財である建造物の公開や内堀での和船の運航等、施設の特徴を生かした効果的な自主事業を継続的に実施している点や、前年度より多くの観光PR動画撮影及び公開、3つの新規オリジナルグッズを発表する等、幅広いメディア媒体を活かして、積極的に史跡及び史跡地内の文化財のPRが図られた点を評価したい。特に「高松城御城印」の販売はお城ファン以外にも大きな影響を呼んだ。また、新型コロナウイルス感染症の影響で例年どおりの事業の実施が困難な中で、オンラインでの対応をとる等、市や関係団体と十分な連携をとり対策を行ったことにより、当初計画していた事業のほとんどを無事実施することができた。入園者数及び利用料金収入については、前年度実績を下回ったが、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じたことに起因し、臨時休園や各事業における前年度より少ない数での人数制限を設けたことにより、止むを得ないものと考えられる。新型コロナウイルス感染症の流行が続く現状を踏まえ、今後については、引き続き入園者数及び利用料金収入の減少が見込まれ、また、桜御門の復元整備及び披雲閣の耐震補強等、随所で工事計画がある中、より一層市と連携し、効率的な施設の管理運営に努められたい。	B